

.....

館園名 : 入間市博物館ALIT (アリット)

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1994年11月07日

所在地

- ・ 〒358-0015 埼玉県入間市大字二本木100

公式サイト

- ・ <http://www.alit.city.iruma.saitama.jp/>

設立主体

- ・ 入間市

運営主体

- ・ 入間市教育委員会

設立目的

- ・ 自然・歴史・民俗・産業・美術工芸などを扱う総合博物館。美術館的・文書館的・情報センター的機能を備える、市民の文化芸術活動の拠点として設置。

展示概要

- ・ 文書資料15,000件、美術工芸資料850件、民俗資料4,250件、考古金石文資料250件、自然系資料1,300件、茶関係資料340件。
- ・ 地場産業である狭山茶にちなみ、茶をメインテーマとしている。

活動概要

- ・ 茶体験事業(茶会、呈茶など)、郷土を知る体験事業(野田双子織・縄文土器・古文書講座など)、博学連携事業(授業活用・ワークシート作成など)、施設貸し出し。

延床面積

- ・ 5,461㎡

全職員数

- ・ 正職員14名、嘱託職員3名、パート職員23名(資料整理、展示解説員)

年間運営費

- ・ 約330,000千円

総資料点数

- ・ 約50,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：アリット茶の花会

活動目的・経緯

- ・ 2002年4月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 32名（2004年）
- ・ 男性：16名、女性：16名（2004年）（および2団体）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育普及係 担当人数：常勤6名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①解説、②広報、③館庭整備、④事業支援。

活動その他

- ・ ボランティア組織により運営（事務局は、博物館職員が担当）。
- ・ シフトはとくに無し。
- ・ 各部会からコーディネーターを選出。月1回のコーディネーター会議で全体調整を行う。
- ・ その他は各部会内で調整。
- ・ 年度末に総会を開催。
- ・ ニュースレターを発行。
- ・ 博物館情報紙等でPR、および口コミ。
- ・ 随時受け付け、選考無し
- ・ 任期なし。会計年度末に、次年度の継続意志を確認する。定年制なし。
- ・ 年1回、全体で研修を実施。講演会、他館の見学などを館が実施する。
- ・ その他、必要に応じてボランティア相互に研修を実施。
- ・ 行政協力員保険に加入。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①解説

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 6 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ①バルコニー解説：本館からの展望を資料に、人間の土地のなりたちを解説。
- ・ ②植物解説：館庭で見ることができる四季折々の植物を解説。
- ・ ③語りべ：入間に伝わる伝承や昔話を、この地方の言葉で語る。
- ・ ④お茶解説：おいしいお茶の淹れ方の解説などを紹介。

◇活動日

- ・ ①第 2・4 土曜日、②毎月 1 回 (日曜日)、③不定期、④原則毎月第 1 日曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 備品・消耗品は、原則として館が用意。

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 各部会からコーディネーターを選出。月 1 回のコーディネーター会議で全体調整を行う。
- ・ その他は各部会内で調整。
- ・ 年度末に総会を開催。
- ・ ニュースレターを発行。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 博物館情報紙等で PR、および口コミ。
- ・ 随時受け付け、選考無し。任期なし。定年制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年 1 回、全体で研修を実施。講演会、他館の見学などを館が実施する。
- ・ その他、必要に応じてボランティア相互に研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 行政協力員保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 来館者が少ないと、活動が空回りしてしまう。

◇その他

- ・

活動個別シート ②広報

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 11 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 広報紙作成：館情報紙のうち、「茶の花会のページ」の企画編集。
- ・ ニュースレター作成：会員内に配布するニュースレターの企画編集。
- ・ 外国人支援：各種印刷物、館内看板等の翻訳を予定。その他、イベント開催時の応接。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 情報紙は、館の予算で制作。
- ・ ボランティア室あり。
- ・ 備品・消耗品は、原則として館が用意。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 各部会からコーディネーターを選出。月 1 回のコーディネーター会議で全体調整を行う。
- ・ その他は各部会内で調整。
- ・ 年度末に総会を開催。
- ・ ニュースレターを発行。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 博物館情報紙等で PR、およびロコミ。
- ・ 随時受け付け、選考無し。任期なし。定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 1 回、全体で研修を実施。講演会、他館の見学などを館が実施する。
- ・ その他、必要に応じてボランティア相互に研修を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 行政協力員保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 外国人支援の活動が休止中。
- ・ ホームページ作成のスタッフを募っているが、集まらない。

◇その他

- ・

活動個別シート ③館庭整備

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 6 名+1 団体（北中野福寿会内の草花の会）（2004 年）

◇活動内容

- ・ 館庭の植物の手入れ。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 花苗、肥料などは、原則として館が準備。倉庫あり。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 各部会からコーディネーターを選出。月 1 回のコーディネーター会議で全体調整を行う。
- ・ その他は各部会内で調整。
- ・ 年度末に総会を開催。
- ・ ニュースレターを発行。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 博物館情報紙等で PR、およびロコミ。
- ・ 随時受け付け、選考無し。任期なし。定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 1 回、全体で研修を実施。講演会、他館の見学などを館が実施する。
- ・ その他、必要に応じてボランティア相互に研修を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 行政協力員保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 人手が不足しているため、作業時の負担が大きい。
- ・ 長期的な計画は作成したので、実現に向けて人手を確保したい。

◇その他

- ・

活動個別シート ④事業支援

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 23 名+1 団体（野田双子織研究会）（2004 年）

◇活動内容

- ・ 体験指導：各種体験講座の指導員・補助員として活動。
- ・ サイエンスバー運営：展示室内の簡易実験コーナーの実演・指導。
- ・ 定点写真撮影：市内の景観を記録。
- ・ イベント支援：各種イベントの企画運営。

◇活動日

- ・ 野田双子織研究会は、原則として毎週水曜日。その他は不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 消耗品、印刷費、現像代は、原則として館が用意。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 各部会からコーディネーターを選出。月 1 回のコーディネーター会議で全体調整を行う。
- ・ その他は各部会内で調整。
- ・ 年度末に総会を開催。
- ・ ニュースレターを発行。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 博物館情報紙等で PR、およびロコミ。
- ・ 随時受け付け、選考無し。任期なし。定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 1 回、全体で研修を実施。講演会、他館の見学などを館が実施する。
- ・ その他、必要に応じてボランティア相互に研修を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 行政協力員保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 事業が立て込んでくると、会員の負担が大きくなる。
- ・ 会員が有している技能を他の会員に伝えることで、会の活動に幅が出てくるとよい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 川越市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1990年03月01日

所在地

- ・ 〒350-0053 埼玉県川越市郭町2-30-1

公式サイト

- ・ <http://www6.ocn.ne.jp/~kawahaku/>

設立主体

- ・ 川越市

運営主体

- ・ 川越市教育委員会

設立目的

・

展示概要

- ・ 常設展示室は、江戸時代の川越に重点を置き、近現代、中世、原始、古代、民俗のコーナーで構成。
- ・ 城下町復元模型、新河岸川河岸場復元模型、蔵造りの町並み復元模型、蔵造り工程復元模型などを展示。

活動概要

- ・ 特別展、企画展、講演会、講座等を開催。
- ・ 図録、目録等を刊行。

延床面積

- ・ 3,986 m²

全職員数

- ・ 14人

年間運営費

- ・ 84,650,904円(2003年度)

総資料点数

- ・ 27,186点(2004年)

その他

・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 2001 年度より、いろいろな技術や特技を持った市民や団体に、ボランティアとして当館主催事業に協力してもらうことで、教育普及活動の内容の充実と事業運営の効率化を図ることを目的に、ミニ展「むかしの勉強・むかしの遊び」において小学校児童の学習支援を開始（市民ボランティア）。
- ・ 2002 年度より、子どもたちの豊かな体験を支援するとともに、博物館に対する興味・関心を高め、来館者との交流を通して豊かな心を育て、ボランティア活動の意義について考える機会とすることを目的に、「子どもボランティア」として活動開始（ジュニアボランティア）。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 65 名（2004 年）
- ・ 男性：14 名、女性：51 名（2004 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育普及係 担当人数：常勤 2 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①市民ボランティア、②ジュニアボランティア、③機織りボランティア。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①市民ボランティア

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 8名(2004年)

◇活動内容

- ・ 土曜体験教室、昔の遊び、子ども博物館教室における教材の準備や、当日の指導および運営の補助を行う。
- ・ ミニ展「むかしの勉強・むかしの遊び」において、市内小学校3年児童への学習支援。

◇活動日

・

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営(シフト 等)

・

◇交流(情報、組織 等)

・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 応募者の中から、館が選出。説明会に参加した後、活動の趣旨や内容を理解した個人または団体を、登録。
- ・ 登録期間1年。

◇研修(種類、内容、講師 等)

・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート ②ジュニアボランティア

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 14 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 博物館周辺の小学校 (高学年) 中学校を対象とする土曜体験教室における準備や体験の簡単な指導。

◇活動日

- ・ 土曜体験教室実施日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 希望する日を選択できるが、1 日を通じての参加を原則とする。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 教室開始前に打合せを行う。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 小学生、中学生、高校生を対象として募集。
- ・ 説明会に参加し、活動内容を確認した後に登録。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート ③機織りボランティア

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 43名(2004年)

◇活動内容

- ・ 博物館同好会の「華の会」(女性27名)、「川越唐棧手織りの会」(女性16名)のメンバーが、当番で裂き織りと唐棧織りの体験指導を行う。

◇活動日

- ・ 火・水曜日(華の会)。
- ・ 木・土・日曜日(川越唐棧手織りの会)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営(シフト 等)

- ・

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 「華の会」、「川越唐棧手織りの会」には、この他にも子ども向け体験教室やミニ展においてもボランティアとして協力を依頼している。

.....

館園名 : 行田市郷土博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1988年02月17日

所在地

- ・ 〒361-0052 埼玉県行田市本丸17-23

公式サイト

・

設立主体

- ・ 行田市

運営主体

- ・ 行田市教育委員会

設立目的

・

展示概要

- ・ 常設展示は、4テーマ。「中世の行田」：忍城の出土遺物や板碑など。「近世の行田」：忍城と二の丸御殿の復元模型や、藩主家臣にゆかりのある甲冑類など。「足袋と行田」：江戸期からの足袋や製造道具など。「古代の行田」：池守遺跡出土の木製農具など。

活動概要

- ・ 特別展（年数回）、歴史講座、講演会、映画会、体験学習会、図書閲覧など。

延床面積

- ・ 2603.4 m²

全職員数

- ・ 14名

年間運営費

- ・ 40,072千円（人件費除く）

総資料点数

・

その他

・

2. ボランティア活動 名称：行田市郷土博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1999年11月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 24名（1999年）
- ・ 男性：13名、女性：11名（1999年）
- ・ 平均年齢58歳：男性65歳、女性50歳（1999年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸係 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①鎧の着用体験の着付け、②考古資料の整理、③古文書資料の整理。

活動その他

- ・ 館により運営（2002年度より）。
- ・ 不定期に、市報、および友の会だよりで募集。
- ・ 定年制なし。
- ・ 任期1年。
- ・ 行田市市民活動災害補償保険に加入。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①鎧の着用体験の着付け

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 13 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 春秋の行楽シーズンに、来館者に鎧（複製）の着用を体験してもらう。

◇活動日

- ・ シーズンの毎週日曜祝日の午後。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 活動シーズンの前に会議を行い、計画を策定し実施。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 市報を通じて、市民に公募する。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修を実施（1 日間）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ スタッフの充実を図る必要がある。

◇その他

- ・ 来館者に好評で、リピーターが増えている。

活動個別シート ②考古資料の整理

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 7 名 (2003 年)

◇活動内容

- ・ 水洗い、注記、拓本、接合など。

◇活動日

- ・ 月 2 回、土曜日の午後。
- ・ ただし、資料整理が一段落したため、2004 年度より活動休止中。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 現在は行っていない。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 今後整理する資料が出てきた段階で、ボランティアの必要性について再検討する必要がある。

◇その他

- ・

活動個別シート ③古文書資料の整理

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 2 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 台帳、カードの作成。

◇活動日

- ・ 毎週土曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 1 日作業を行う。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 古文書研究会で告知する (館で第 2 日曜日に開催)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ メンバーが固定化しているため、新しい募集を行う必要がある。

◇その他

- ・

.....

館園名 : さいたま川の博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1997年08月01日

所在地

- ・ 〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町大字小園 39

公式サイト

- ・ <http://www.river-museum.jp/>

設立主体

- ・ 埼玉県

運営主体

- ・ 埼玉県

設立目的

- ・ 県による荒川の総合調査（1983年～）を契機に博物館設立の声が起き、1986年から県教育局において設立準備を進め、河川系総合博物館として開館。

展示概要

- ・ 「荒川を中心とする埼玉の河川や水と人々の暮らしとの関わり」を総合テーマとする参加体験型の博物館。
- ・ 第1展示室：鉄砲堰の放水実演、実物大模型の荷船や船車など。
- ・ 第2展示室：特別展示や館有資料展示。
- ・ アドベンチャーシアター：川下りの擬似体験ができる。
- ・ 荒川情報局：パソコンで治水予測ゲームや図書閲覧ができる。
- ・ 屋外展示：日本最大級の木製大水車、粉ひき実演のできる水車小屋、荒川大模型 173 など。

活動概要

- ・ テーマ展、企画展、特別展、各種イベント、荒川ゼミナール、わくわくサタデーミュージアム、映画会などを開催。

延床面積

- ・ 3,998 m²

全職員数

- ・ 17名

年間運営費

- ・ 240,412千円（2004年度）

総資料点数

- ・ 465件 3241点（2003年度）

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：展示解説ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1999年9月、当館が活動や学習の場を提供することにより、ボランティアの自己啓発や自己実現を支援し、ボランティアはその活動や学習を通して当館を支援するという、双方向の信頼関係を構築することにより、両者の期待を調和させようとするを目的として、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 22名（2004年）
- ・ 男性：18名、女性：4名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育普及担当 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①屋外展示の解説、②野外教室のスタッフ、③広報。

活動その他

- ・ 主として、土、日曜日に活動。
- ・ ボランティア研修会費として、20,000円を計上。
- ・ ボランティア控え室として、会議室を適宜使用。
- ・ ボランティアが自主的に「ボランティアの会」を組織し、イベントの企画や勉強会を実施。
- ・ ボランティアの会が勉強会を実施。
- ・ 月に1回、定例会を実施。
- ・ 年1回、一般公募。
- ・ 定年制なし。
- ・ 任期制あり（1年間、更新可能）。
- ・ 館が研修（展示解説研修会、現地研修会）を実施（講師：学芸職員、外部講師）。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 「ボランティアの会」が中心となって活動できるよう、支援を続けている。自主企画事業も、軌道に乗っている。
- ・ 「ボランティアの会」が中心になって活動するようになったため、館としても運営がしやすくなった。会長をはじめ、リーダーがおり、ボランティアどうしの関係も良好。
- ・ 年間を通して活動しないメンバーに、どのように働き掛けていくかが課題。
- ・ 展示解説以外にまで範囲を広げて募集することを検討中。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.river-museum.jp/>

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①屋外展示の解説

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 22 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 来館者に屋外展示（荒川大模型 173、溪流観察窓など）の解説を行う。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②野外教室のスタッフ

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 22 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 野外教室にスタッフとして参加する。

◇活動日

- ・

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③広報

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 22 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ ボランティア活動の広報 (HP の作成) を行う。

◇活動日

- ・

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 埼玉県こども動物自然公園

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1980年05月05日

所在地

- ・ 〒355-0065 埼玉県東松山市岩殿 554

公式サイト

- ・ <http://www.aya.or.jp/~sczoo/>

設立主体

- ・ 埼玉県

運営主体

- ・ 財団法人埼玉県公園緑地協会

設立目的

- ・ こどもが動物と親しむ、自然の中で情操と科学心を養う、リラックスして遊べる、以上の3点を基本理念として設立された。

展示概要

- ・ コアラ、キリン、レッサーパンダ、ツルなどの野生動物の他に、動物とのふれあいが可能な家畜も多数飼育している。他に、10種20体の大型恐竜模型や楽しみながら自然を学ぶ「こどもの城」がある。

活動概要

- ・ 牛乳の手搾り体験、ポニー乗馬、ウサギ等とのふれあいを毎日実施している。
- ・ 年間を通して、動物に親しんだり、自然を理解するための教育普及活動を展開している。
- ・ 多様なラベルを利用して動物の生態をわかりやすく掲示している。
- ・ 希少動物の種の保存にも積極的に取り組んでいる。

延床面積

- ・ 800,000 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 36名（2004年11月現在）

年間運営費

- ・ 円（2003年度）

総資料点数

- ・ 1,627点（2004年11月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 外部の団体が園内にて活動している。
- ・ 園独自のボランティア組織は所有していない。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ワークショップの企画・運営。
- ・ 園内林地の管理。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.ecosys.or.jp/eco-saitama/>
- ・ <http://www.supporter-club.org/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート ①ワークショップの企画・運営

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 18名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 竹細工を作るワークショップの企画・運営。
東松山市きらめき大学校友会が、竹馬や竹とんぼの制作指導をする。

◇活動日

- ・ 12月の第1週。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 工作道具の購入。
- ・ 材料の提供。

◇運営（シフト 等）

- ・ —

◇交流（情報、組織 等）

- ・ —

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ —

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ —

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ —

◇課題と展望

- ・ 今後、活動日数と内容の充実をはかる。

◇その他

- ・

活動個別シート ②園内林地の管理

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 25名（2004年11月現在）

◇活動内容

- ・ 園内の雑林の下刈り。
NPO埼玉森林サポートクラブが、園内雑林の一部を管理補助している。

◇活動日

- ・ 2004年は、2回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ —

◇交流（情報、組織 等）

- ・ —

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ —

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ —

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ —

◇課題と展望

- ・ 今後も年数回の活動を予定。

◇その他

- ・

活動個別シート ③ワークショップの運営

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1982 年

◇活動人数

- ・ 30 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 自然に親しむワークショップの運営。
（財）埼玉県生態系保存協会が、当園の企画するワークショップの運営を当園と共に行っている。

◇活動日

- ・ 11 月第 1 週と 3 月最終週の日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ —

◇交流（情報、組織 等）

- ・ —

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ —

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ —

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ —

◇課題と展望

- ・ 内容を充実しながら活動の巾を増加させる予定。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 埼玉県立近代美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1982年11月03日

所在地

- ・ 〒336-0001 埼玉県さいたま市常盤9-30-1

公式サイト

- ・ <http://www.saitama-j.or.jp/~momas/>

設立主体

- ・ 埼玉県

運営主体

・

設立目的

- ・ 県民のだれもが気軽に訪れ、つねに美との新しい出会いがある、楽しく親しまれる美術館を目指す。

展示概要

- ・ 埼玉の作家と、かれらに影響を与えた内外の作家の作品を核として、近現代作家の作品を収集。斎藤与里、斎藤豊作らのゆかりの作家と、佐伯祐三、古賀春江、ピカソ、モネら、総数2,565余点。

活動概要

- ・ 各種美術館講座、講演会、ギャラリートーク、作品ガイド、椅子・彫刻めぐり、子どものためのプログラムや親子のワークショップを開催。

延床面積

- ・ 8,577 m²

全職員数

- ・ 23名（学芸・庶務・管理職員の合計）

年間運営費

- ・ 173,649,000円

総資料点数

- ・ 2,679点（H16年度末現在）

その他

・

2. ボランティア活動 名称：埼玉県立近代美術館ガイドボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1999年6月、ガイドボランティア公募
- ・ 2000年4月、ガイドボランティア活動開始。
- ・ 2002年4月、教員・学生ボランティア募集
- ・ 2002年7月、教員・学生ボランティア活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 24名（2005年5月現在）
- ・ 男性：4名、女性：20名（ 年）
- ・ 平均年齢 48歳：男性 58歳、女性 39歳（ 年）

※本データは展示解説ボランティアのもの。教員・学生ボランティアは現在募集期間中のため割愛します。

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学校・教育普及担当 担当人数：常勤 3名・その他（埼玉県長期研修教員2名）

活動の種類

- ・ ①展示解説、②教員・学生ボランティア。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示解説

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 24 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 常設展示室にて、館の概要や収蔵品についての解説を行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動（開館日）、午後 2：00 から 30 分程度。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 必要に応じて教育普及予算全体より検討捻出
- ・ 備品：ガイドツール（日本画セット、版画セット、資料ボックス等）
- ・ ボランティア室あり：自主管理で使用

◇運営（シフト 等）

- ・ 会合の場の設定は、館が行う。
- ・ スケジュール管理は、ボランティアが行う。
- ・ 1 人月 1～2 回が目安。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月例会。
- ・ メーリングリスト。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 不定期、一般公募。
- ・ 定年制なし。
- ・ 任期 2 年。継続あり。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 月例会のときに、館が実施。・研修会の充実を図るために作家の講演や実技講座などを行う。
- ・ ボランティアの個性を活かすため、ガイドのシナリオは作らない。約束を明確にすることをこころがけている。
- ・ ボランティアが自主的にガイド資料・質問等のデータベースを作成。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険のみ美術館が負担。他はすべて無償でお願いしている。
- ・ 展覧会、講演会、関連事業の連絡およびその他すべて減免で対応。

◇評価

- ・ 特に表彰等はなし。

◇課題と展望

- ・ 月の担当が 2 回になるケースが多いため、第三期の募集を行う。（現在募集中）

◇その他

- ・ 作家との交流を心がけている。
- ・ 自分の価値観を押しつけないこと、誤った情報を伝えないこと、がガイドの心得。

活動個別シート ②教員・学生ボランティア

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 84名 (2004年)

◇活動内容

- ・ 子どもを対象としたプログラムやワークショップなどの補助。
- ・ 夏休み子ども相談員 (来館した子ども達の対応)。

◇活動日

- ・ 毎週土曜日「アートの森」事業のサポート。
- ・ 夏休みの子ども向けプログラムのサポートおよび子どもの対応。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 予算なし。
- ・ 備品等なし。
- ・ ボランティア室等なし。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 主体はすべてボランティア担当者が行う。
- ・ 必要な連絡は文書で郵送。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア研修会を実施し、最後の研修日に交流会を行う。
- ・ Eメールによる美術館情報の一斉配信。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 5月末まで受付。
- ・ 条件の範囲内ならば選考はなし。
- ・ 時期：6月研修、7月～3月活動。
- ・ 募集人数の制限なし。
- ・ 任期：6月登録 翌年4月まで。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 6月に、4回の研修 (美術館の概要、教育普及の概要、普及プログラムの実践、子どもの対応等)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ すべて無償 (ボランティア保険も本人負担)。
- ・ 美術館事業の連絡、展覧会情報、観覧等の減免待遇。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ 継続者6割と新規登録者4割のバランスを維持しているため良好な運営が出来ているが、完全な自由意志での参加のため夏休み子ども相談員が常駐できない日がでる可能性があり、対策を講じている。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 埼玉県立自然史博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1981年11月10日

所在地

- ・ 〒369-1305 埼玉県秩父市長瀬町長 1417-1

公式サイト

- ・ <http://www.kumagaya.or.jp/~sizensi>

設立主体

- ・ 埼玉県

運営主体

- ・ 埼玉県

設立目的

- ・ 埼玉の自然界をつくる動物・植物・地質等の資料や、これらの変遷に関する資料を収集・整理保管・調査研究し、展示・教育普及事業等に活用して、教育・学術・文化の発展に寄与すること。

展示概要

- ・ 埼玉の自然界を構成する動物・植物・地質等の資料によって「埼玉の自然とその生いたち」をテーマに紹介する。
- ・ 常設展示は、オリエンテーションホールで約1200万年前の巨大ザメ（カルカロドン メガロドン）の生体及び顎の復元、絶滅した海獣パレオパラドキシアの復元骨格群像などがある。地学展示ホールでは約3億年に及ぶ埼玉の大地の生い立ちが年代順に順序よく紹介されている。生物展示ホールでは、埼玉にみられる代表的な4つの森林とそこに生息する動物たちのようすを臨場感あふれる大ジオラマで紹介している。

活動概要

- ・ ・年1回の特別展・年3回の企画展、当館に寄せられる寄贈・寄託資料を展示する寄贈・寄託品展を実施する。
- ・ ・わくわくサタデーミュージアム、野外観察会、科学教室、子ども体験スクール、自然史ふれあいトーク、研究発表会。
- ・ 県民の日記念事業、夏休み理科相談室、総合学習等活用講座、指導者養成講座等を実施。
- ・ 館報、研究報告、所蔵資料目録、自然史だより、イベントインフォメーションなどを発行。

延床面積

- ・ 3,022.9㎡

全職員数（常勤職員）

- ・ 16名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 28,855千円（2003年度）

総資料点数

- ・ 126,518点（2003年03月現在）

施設その他

- ・ 再編整備を見越して運営計画の見直しを行っている。

2. ボランティア活動 名称：埼玉県立自然史博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1994年5月 埼玉県立自然史博物館友の会の会員の中から資料の収集、整理、研究資料製作を目的として結成、その後も同様に埼玉県立自然史博物館友の会会員を主体として活動している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 23名（2004年06月現在）
- ・ 男性：16名、女性：7名
- ・ 平均年齢 57.9歳：男性 60.9歳、女性 50.9歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：企画担当
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 0名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①資料の収集整理。
- ・ ②研究資料製作。
- ・ ③自然観察会等運営協力。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営。特にボランティアとしての組織形成はしていない。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 2004年 当館とさいたま川の博物館が主催する連絡企画展「水辺の昆虫トンボ」にNPO法人むさしの里山研究会が共催し、会が保有する資料やパネルの提供ならびに会が管理するトンボ公園での自然観察会を展開した。

活動個別シート ①資料の収集整理、研究資料製作、自然観察会等運営協力

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1994年

◇活動人数

- ・ 23名（2004年06月現在）

◇活動内容

- ・ 動物、植物、地質に関する資料の収集整理、研究資料製作。
- ・ 自然観察会等運営協力。

◇活動日

- ・ 特に定めてない。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算0 備品 館有備品、ボランティア室として図書室の一部を活用、更衣ロッカー貸与。

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティアの会議などは実施していない。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広く広報していない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 研修プログラムは特にないが、適宜学術的助言等を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入（費用は館で負担）。

◇評価

- ・ 調査結果等研究報告や自然史だよりに掲載している。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 埼玉県立博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1971年11月01日

所在地

- ・ 〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4-219

公式サイト

- ・ <http://www.saitama-kenpaku.com/>

設立主体

- ・ 埼玉県

運営主体

- ・ 埼玉県

設立目的

- ・ 埼玉百年記念事業の一環として、元埼玉県立文化会館跡に、埼玉の歴史と美術の2部門からなる人文系の総合博物館として設立。
- ・ 1982年、県立近代美術館開設にともない、近代美術部門を美術館に全面移管。1983年、歴史系総合博物館として再発足。

展示概要

- ・ 考古資料、歴史資料、民俗資料、古美術資料など、55,000点を収蔵。
- ・ 主な収蔵品：「さいたま市寿能泥炭層遺跡出土木器・漆器」、「東松山市三千塚古墳群出土埴輪（弹琴）」、「国宝・太刀（備前国長船住左兵衛尉景光）」など。
- ・ 常設展示：「埼玉における人々のくらしと文化」という展示主題のもとに構成。「あけぼのー狩りから稲作へー」「杖刀人ー辛亥銘鉄剣が語るものー」「武蔵武士」「乱世に生きる」「武士のこころー板碑ー」「江戸をささえるⅠー幕府の支配ー」「江戸をささえるⅡー産業と文化ー」「誕生埼玉」の8つの大テーマからなる。
- ・ 小テーマ展をはじめこみながら、毎月部分的に展示替えを実施している。

活動概要

- ・ 特別展、企画展、講演会、講習会、体験学習、博物館フレンド調査を実施。
- ・ 研究出版：展示総合案内、見学のしおり、年間催物案内、THE AMUSEUM～埼玉県立博物館だより～、紀要、資料目録、特別展目録・図録、解説リーフレット。

延床面積

- ・ 11,363.93㎡

全職員数

- ・ 39名

年間運営費

- ・ 111,479千円

総資料点数

- ・ 55,000点

その他

- ・ スタディールーム（郷土学習室）：Q & Aスペース（ビデオコーナー・パソコンクイズ）、むかしむかし（体験の広場）、火と水の広場（屋外）など。

2. ボランティア活動 名称：埼玉県立博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2003年10月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 37名（2004年）
- ・ 男性：25名、女性：12名（2004年）
- ・ 平均年齢53.7歳：男性59歳、女性48.3歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育普及担当 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①体験活動の補助、②体験ブースの運営、③郷土学習室の運営。

活動その他

- ・ 月2日程度、開館日に活動。
- ・ 消耗品購入費を計上。
- ・ ボランティアルームあり。パソコンを設置。
- ・ 事務局（館）が、活動日を取りまとめ、活動表を作成し、配布。
- ・ シフトは、ボランティアどうしで決定。
- ・ 学校の体験学習がある日のボランティアには、職員が体験学習のサポートを依頼し、実施してもらっている。
- ・ 館が、不定期に打合せ会を実施。奇数月に定例会を開催。
- ・ 不定期的に募集。
- ・ 定年制については、検討中。
- ・ 単年度更新。
- ・ 館が、養成講座を実施。
- ・ 不定期にスキルアップ講座を実施。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 体験学習に参加した児童生徒には好評である。
- ・ ボランティア導入の方針（募集要項を含む）について検討する必要がある。
- ・ 登録人数が少ないので、早急に募集する必要性が生じてきている。
- ・ シフトなど、自主的な運営にすることが課題である。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①体験活動の補助

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 37 名 (2004 年) ※全体と同じ

◇活動内容

- ・ 館、ボランティア協働で、子ども向け体験事業を企画・運営・実施する。

◇活動日

- ・ 月 2 日程度、開館日に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 消耗品購入費を計上。
- ・ ボランティアルームあり。パソコンを設置。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 事務局 (館) が、活動日を取りまとめ、活動表を作成し、配布。
- ・ シフトは、ボランティアどうしで決定。
- ・ 学校の体験学習がある日のボランティアには、職員が体験学習のサポートを依頼し、実施してもらっている。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 不定期にスキルアップ講座を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 体験学習に参加した児童生徒には好評である。

◇課題と展望

- ・ 登録人数の増大。シフトなど、自主的な運営にすることが課題である。

◇その他

- ・

活動個別シート ②体験ブースの運営

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 37 名（2004 年）※全体と同じ

◇活動内容

・

◇活動日

- ・ 月 2 日程度、開館日に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 消耗品購入費を計上。
- ・ ボランティアルームあり。パソコンを設置。

◇運営（シフト 等）

- ・ 事務局（館）が、活動日を取りまとめ、活動表を作成し、配布。
- ・ シフトは、ボランティアどうしで決定。
- ・ 学校の体験学習がある日のボランティアには、職員が体験学習のサポートを依頼し、実施してもらっている。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 不定期にスキルアップ講座を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 体験学習に参加した児童生徒には好評である。

◇課題と展望

- ・ 登録人数の増大。シフトなど、自主的な運営にすることが課題である。

◇その他

・

活動個別シート ③郷土学習室の運営

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 37 名 (2004 年) ※全体と同じ

◇活動内容

- ・ 郷土学習室を運営する。

◇活動日

- ・

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 埼玉県立民俗文化センター

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1980年11月01日

所在地

- ・ 〒339-0056 埼玉県岩槻市加倉 5-12-1

公式サイト

- ・ <http://www005.upp.so-net.ne.jp/minbun>

設立主体

- ・ 埼玉県

運営主体

・

設立目的

- ・ 本県に伝承されている民俗芸能および民俗工芸を保存し、公開実演などの活用を図り、教育、学術および文化の発展に寄与することを目的とする。

展示概要

- ・ 民俗工芸：郷土で活躍する職人の技術と製品を紹介。人形、押絵羽子板、足袋、団扇などのコーナーがある。
- ・ 民俗芸能：郷土に伝承される神楽、地芝居、獅子舞、人形芝居などを紹介。

活動概要

- ・ 民俗芸能の公演（300人収容のホール）、民俗工芸の実演（専用の研修室）、現役の職人や芸能伝承者が指導する講習会・体験学習を実施。
- ・ 調査報告書、研究紀要、所報、展示解説を出版。
- ・ 映画・ビデオ等による記録保存。
- ・ ホールを有料で貸し出している。

延床面積

- ・ 3,437.07㎡

全職員数

- ・ 12人

年間運営費

- ・ 26,587千円（2004年度）

総資料点数

・

その他

- ・ 民俗芸能・工芸に関する全国唯一の専門館。「わざの博物館」と呼ばれる。

2. ボランティア活動 名称：民俗文化センターボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2002年4月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 42名（2004年）
- ・ 男性：14名、女性：28名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：ボランティア担当 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①体験学習を中心とした事業開催時の補助。

活動その他

- ・ 主に事業実施日に活動。
- ・ 館により運営。
- ・ 随時募集。
- ・ 大学生・院生に限定。
- ・ 定年制、任期制あり。
- ・ 館が研修を実施。
- ・ 文化ボランティア養成講座を開催（2003年度）。
- ・ 実技習得研修会を開催（2003年度）。
- ・ ボランティア参加募集用ガイドブックを作成（2003年度）。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート 活動名：①体験学習を中心とした事業開催時の補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 21名（2005年 6月現在）

◇活動内容

- ・ わくわくサタデーミュージアム・手作り体験教室・民俗芸能講習会・職人入門講座・工芸実演芸能公演等開催の際の、受付・体験学習の講師の補助等を行う。

◇活動日

- ・ 事業開催日（土・日曜日中心）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 名札支給程度。

◇運営（シフト 等）

- ・ 年度当初本人から予定を聞き、スケジュール表を作成し、事業日前に更にメールで声かけを行っている。各回1～4人程度が参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 当センターからの連絡に応じて参加。年度当初の委嘱式・事業に参加してくれる小学生（キッズクルー）に年3回通信を出す時などに集まってもらうが他は特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 大学生ボランティアなので3～4月に県南の大学にポスター・パンフレットを送って依頼。また、直接職員が大学へ出向き、学芸員課程等のガイダンスで勧誘。簡単な面接を実施。5月中旬に委嘱式及び研修を実施。
- ・ 人数：21人 任期：5月中旬から翌年3月末まで 年度初めに改めて募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年度により異なるが、17年度は年度当初に、1体験学習「絞り藍染めハンカチ作り」を職員を講師として実施。2神楽師を講師としてお囃子講習会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 特にないが、教員志望の学生が多いため、当センターでの活動は実際に小学生を中心とした子どもたちと接する良い機会となっており、また、教員採用試験等の面接で実績が評価されることも多い模様。また、教員となって学校側で博学連携の良い繋ぎ役となってくれる場合もある。

◇課題と展望

- ・ ボランティア担当職員は16年度まで教育職の職員が継続して担当していたため、大学との連携が良く取れていたが、異動して、連携が取りづらくなっている。また、当センターは18年度に埼玉県立博物館との統合再編する予定であり、18年度以降のボランティア制度については現在検討中である。

◇その他

- ・ 当センターの主催事業のうち、人気の高い組紐・藍染め体験などでは講師の他にボランティアの参加は必要不可欠となっている。

館園名 : 埼玉県立歴史資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1976年04月01日

所在地

- ・ 〒355-0221 埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷 757

公式サイト

- ・ <http://www.ksky.ne.jp/~rekishi/>

設立主体

- ・ 埼玉県

運営主体

- ・ 埼玉県

設立目的

- ・ 国指定史跡菅谷館跡の整備・維持管理のほか、比企地方の考古・歴史・民俗資料を収集・保管・展示するとともに、各分野の調査研究を行う。

展示概要

- ・ 考古資料：重要文化財 東山遺跡（美里町）出土「瓦塔・瓦堂」、南比企窯跡群出土須恵器。
- ・ 民俗資料：炭焼き道具、年中行事に使用する民俗資料。
- ・ 歴史資料：板碑、掛け仏、畠山重忠関連資料（複製品を含む）。
- ・ 比企地方の文化財や鎌倉街道上道を紹介するビデオ。
- ・ 比企地方に伝わる昔話を紹介するコーナー。

活動概要

- ・ 歴史講座（3回連続の集中講座）、野外歴史教室、比企歴史の丘教室（月1回の講座）、わくわくサタデーミュージアム（子ども向け体験学習）の開催。
- ・ 学校向け体験学習の実施。
- ・ 調査報告書や研究紀要の刊行。

延床面積

- ・ 3,532.9㎡

全職員数

- ・ 12人

年間運営費

- ・ 19,106,000円（人件費を除く）

総資料点数

- ・ 8,954点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：①サポータークラブ、②ボランティア・ティーチャー

活動目的・経緯

- ・ 2002年4月、活動開始。
- ・ 地域に根ざした資料館活動の一環としてボランティア活動を取り入れることになった。

活動人数（男女比、年齢構成）

<全体>

- ・ 66名（2005年4月現在）
- ・ 男性： 5名、女性： 61名（2005年4月現在）

<①サポータークラブ>

- ・ 9名（2005年4月現在）
- ・ 男性： 0名、女性： 9名（2005年4月現在）

<②ボランティア・ティーチャー>

- ・ 57名（2005年4月現在）
- ・ 男性： 5名、女性： 52名（2005年4月現在）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：史跡整備担当 担当人数：常勤 1名・その他（ ） 0名

活動の種類

- ・ ①サポータークラブ
大学生以上一般を対象としたボランティア。教育普及事業、資料整理、展示作業の補助。
- ・ ②ボランティア・ティーチャー。
中学生と高校生を対象としたボランティア。

活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ 事前学習会を実施。
- ・ 活動は不定期。
- ・ 一般公募。
- ・ 登録は1年単位。特に任期は設けず。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ 歴史資料館のHP内に活動宝庫君おページあり。

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 教育普及事業に地域で活動している団体や個人を講師に招き、実施しているものあり。

活動個別シート ①サポータークラブ

◇活動開始年

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 9名(2004年)

◇活動内容

- ・ 教育普及事業、資料整理、展示作業の補助。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ スタッフジャンパーの支給。

◇運営(シフト 等)

- ・ 当人の都合に応じ不定期。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 対象：大学生以上。
- ・ 時期：通年。
- ・ 任期：1年。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 必要に応じて実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 全国社会福祉協議会のボランティア保険に加入(館が負担)。

◇評価

- ・ 年度末に感謝状と記念品を贈呈する式を実施。
- ・ 特に子ども向け教育普及事業が増えたので、手薄な部分をカバーしてもらっている。スタッフとして力を発揮し、参加者からも好評を得ている。

◇課題と展望

- ・ 人数を増やし、個々人の得意分野を配慮して、活動内容別にグループ分けしたい。しかし、博物館の統廃合計画の中で資料館の地元移管や廃館という案も出ているので、積極的に展開しづらい状況にある。

◇その他

- ・

活動個別シート ②ボランティア・ティーチャー

◇活動開始年

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 50名(2004年)

◇活動内容

- ・ 小・中学生向けの教育普及事業の補助。

◇活動日

- ・ 館からの指定日に活動。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ スタッフジャンパーの支給。

◇運営(シフト 等)

- ・ 当人の都合に応じ不定期。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 対象：大学生以上。
- ・ 時期：通年。
- ・ 任期：1年。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 必要に応じて実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 全国社会福祉協議会のボランティア保険に加入(館が負担)。

◇評価

- ・ 年度末に感謝状と記念品を贈呈する式を実施。
- ・ 大人に無い発想があるため、事業の内容に幅が出てきている。また活気も出てきた。
- ・ 中学3年、高校3年の登録者が多く、自分の将来を考えての参加者がほとんど。まじめに取り組んでいる。

◇課題と展望

- ・ 単年度登録者が多く、継続性に欠ける。

◇その他

- ・

.....

館園名 : さいたま市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1980年11月03日

所在地

・〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町2丁目1番地2

公式サイト

・<http://>

設立主体

・さいたま市

運営主体

・さいたま市

設立目的

・生涯にわたって想像性豊かな市民を育て、教育・学術・文化の発展に寄与することを目的として設置。

展示概要

・さいたま市の歴史を原始・古代から近代までを常設展示室において収蔵品を中心に紹介。

活動概要

- ・博学連携を特色にあげ、夏休みなども博物館から、学校巡回展、昔の道具とくらし展、学習ノートの配布を実施。
- ・秋に特別展、春に企画展などを実施。
- ・図録・研究紀陽などを発行。

延床面積

・2,330.18 m²

全職員数（常勤職員）

・7名（2004年4月現在）

年間運営費

・94,699,000円（2003年度）

総資料点数

・約30,000点（2004年4月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：古文書筆写ボランティア

活動目的・経緯

・当館所蔵古文書の整理の為、古文講座講師、修了生（その後、自主学習グループで数年の経験がある人）の有志に参加してもらい結成。

これまで、文書目録などを作成し、紀要等で発表している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 19名（2004年5月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年5月現在）

- ・ 部局名称：さいたま市立博物館事業担当
- ・ 担当人数：常勤職員5名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 古文書の目録作成。
- ・ 古文書の筆写。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①古文書筆写ボランティア（金曜）

◇活動開始年（西暦）

- ・不明 年

◇活動人数

- ・ 7名（2004年5月現在）

◇活動内容

- ・ 古文書の目録作成。
- ・ 古文書の筆写。

◇活動日

- ・ 毎週金曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 会議室、筆写要原稿用紙の提供。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 年間で定額を謝金として支払う。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②古文書筆写ボランティア（水曜）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 13 名（2004 年 5 月現在）

◇活動内容

- ・ 古文書の目録作成。
- ・ 古文書の筆写。

◇活動日

- ・ 水曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 会議室、筆写要原稿用紙の提供。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 年間で定額を謝金として支払う。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : さいたま文学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1997年11月22日

所在地

・ 〒363-0022 埼玉県桶川市若宮 1-5-9

公式サイト

・ <http://www.mmjp.or.jp/saibun/>

設立主体

・ 埼玉県教育委員会

運営主体

・ 財団法人けやき文化財団(さいたま文学館)

設立目的

・

展示概要

- ・ 「常設展示」: 3つの展示コーナーから成る。主に本県ゆかりの文学者19名、および当館のコレクションである永井荷風を含めた20名の文学者を中心とした展示(詳細は『館報』第7号 p9~11、およびパンフレット「展示案内」参照)。
- ・ 「企画展およびテーマ展」: 主に常設展示対象者以外の本県ゆかりの文学者にスポットをあて、企画展を年2回、テーマ(収蔵資料)展を1回の実施(『館報』第7号 p19~21、p23)。

活動概要

- ・ 文学資料の収集、保管、展示、及び閲覧に関すること。
- ・ 文学資料についての調査研究に関すること。
- ・ 県民の文学活動の支援に関すること。
- ・ ホール、講座室、研修室及び付属設備の利用に関すること。

延床面積

・ 9,372 m²

全職員数（常勤職員）

・ 9名(2005年01月現在)

年間運営費

・ 229,877,000円(2003年度)

総資料点数

・ 85,085点(2004年03月現在)

施設その他

・ 特になし

2. ボランティア活動 名称：さいたま文学館サポーター

活動目的・経緯

- ・ 「親しみやすく開かれた文学館」を目指すと共に、ボランティア活動による生きがいをづくりと新たな学習の場を提供するために、観覧者の立場から展示観覧を支援する「さいたま文学館サポーター」(通称サポーター)を養成し、2004年4月より活動を始めた。

活動人数(総数、男女比、年齢構成)

- ・ 15名(2005年01月現在)
- ・ 男性：6名、女性：9名
- ・ 平均年齢 65歳：男性 69歳、女性 61歳

ボランティア担当職員(2005年01月現在)

- ・ 部局名称：総務普及課、資料情報課
- ・ 担当人数：常勤職員 2名・その他() 名

活動の種類(種類別にご記入願います)

- ・ 原則として毎週度、日曜日の14時半から15時まで、常設展示及び視聴覚機器の利用法を解説。
- ・ 常設展の展示解説希望がある団体にたいする展示解説。
- ・ 文学館行事における補助(受付、参加者の整理等)。

活動その他(活動全体に関わる特記事項など)

- ・ 月例会(毎月第4土曜日午前中)への参加。
- ・ スキルアップのため、文学館講座への参加(一般参加者と共に受講)。

関連する出版物

- ・ 特になし。ただし、広報に関しては、当館で刊行している「文学館だより」等に関連事項を掲載している。

関連するHP

- ・ <http://www.mmjp.or.jp/saibun/>
当館HP中に記述あり。

館外組織(NPO等)との連携(館内ボランティア以外での連携など)

- ・ 特になし

活動個別シート 活動名：展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 15 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 土、日曜日の常設展展示開設。
- ・ 平日の団体利用における常設展展示解説。

◇活動日

- ・ 原則として毎週度、日曜日の 14 時半から 15 時まで。
- ・ 常設展の展示解説希望がある団体の来館日(変則)。
- ・ その他、特別講演会等の文学館行事のある日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし

◇運営（シフト 等）

- ・ 2 ヶ月前の月例会で各自の活動希望日を提出。→ その月の当番(ボランティア 3 名)が調整し文学館担当者へ提出。→ 1 ヶ月前の月例会で展示解説日程表を配布。
- ・ 基本的に個人の意志に任せているので、特に班編成はしていない。
- ・ 当番は名簿順(名前の順)で回り持ち。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月例会を毎月第 4 土曜日午前中に実施。
- ・ 上記以外のことについては、ボランティアの医師に任せている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 応募に際しては、1200 以上 2000 文字以内で「文学館におけるボランティア活動」と題した文章を提出。その後、面接にて選考。
- ・ 年齢制限、本県在住、在学、在勤等の規定なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修は 1 年間。月 1 回行い、専門研修(常設展の展示開設に伴う)および接遇研修(多感のボランティアによる解説を見学するなど)を受講。
- ・ 模擬解説を職員が直接評価し、合格すれば翌年 4 月から「さいたま文学館サポーター」として活動を開始することができる。
- ・ 研修期間中、上記以外の研修については、養成講座受講者の意思に任せる。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 展示室の入館無料。
- ・ 企画展展示図録、館報を無償提供。
- ・ 1 人に月年間 100 枚まで、コピーが認められている。

- ・ 交通費等は支給していない。

◇評価

- ・ 特になし

◇課題と展望

- ・ 高齢者が多いため、健康上や家庭の事情でやむなく辞める人が多い。人数が減ると、個人の負担が大きくなってしまう。

◇その他

- ・ 当館でボランティアが活動を開始して約半年が経過し、展示解説目当ての来館者が徐々に増えつつある。

.....

館園名 : 狭山市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1991年11月01日

所在地

- ・ 〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 稲荷山公園内

公式サイト

- ・ <http://www.city.sayama.saitama.jp/museum.htm>

設立主体

- ・ 狭山市

運営主体

- ・ 狭山市立博物館

設立目的

- ・ 市制施行35周年記念として、市民の生涯学習の拠点として設立。

展示概要

- ・ 狭山市に関する資料を中心に、アケボノゾウ復元骨格、人間馬車鉄道復元模型等、先史時代から現在までの歴史・考古・民俗・自然について展示。
- ・ 芸術では、横山大観、藤田嗣治らの作品を、展示替えをまじえ紹介。

活動概要

- ・ 企画展（年3～4回）、講座、体験学習等を開催。
- ・ 自由に参加できる茶席（有料）を設けている。
- ・ 要覧・図録などを刊行。

延床面積

- ・ 3,453 m²

全職員数

- ・ 7名

年間運営費

- ・ 77,584千円

総資料点数

- ・ 10,759点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：狭山市立博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2003年7月、各種事業等に、ボランティアとして市民（在勤・在学者を含む）の協力を得て、博物館活動の一層のサービスの向上に資することを目的に、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 33名（2005年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢46歳：男性 歳、女性 歳（2005年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：事業係 担当人数：常勤3名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①資料整理支援、②事業支援、③展示解説支援、④広報活動支援、⑤障害者支援、⑥外国語通訳・翻訳支援。

活動その他

- ・ 不定期に活動。
- ・ 館により運営。
- ・ 主としてメールにて連絡。
- ・ 随時、広報さやま、館HP、ポスター等で一般公募。
- ・ 定年制、任期制なし。ただし、年度末に本人の意思確認を行う。
- ・ 館職員、専門的知識を持つ他施設職員が、随時研修を実施。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 狭山市外の方が多く、交通費を支給できないことから、ネットを使って在宅で活動に参加して頂けないか、検討中。
- ・ ボランティアの能力（とくに高学歴の方、手に職をお持ちの方）を、さらに引き出していきたい。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.city.sayama.saitama.jp/museum.htm>

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート 資料整理支援他

◇活動開始年

- ・ 2003

◇活動人数

- ・ 33名（2005年）

◇活動内容

- ・ 収蔵品・文献・写真映像資料・市史編さん資料等の分類、整理、保存。
- ・ 録音テープの翻訳。
- ・ 各種講座、体験学習、イベント、展示物の入れ替え等の企画、準備、片付け、展示指示具の製作。
- ・ 常設展示、企画展示の解説、および総合学習の解説。
- ・ 館の最新情報等を、HP等に入力、更新する。
- ・ 企画展開催時の案内文の作成、印刷、配布。
- ・ 手話による解説、視覚障害者への案内、解説、点字翻訳等。
- ・ 外国人の来館者に対する案内、解説。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 所沢航空発祥記念館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1993 年 04 月 03 日

所在地

・ 〒359 -0042 埼玉県所沢市並木 1-13

公式サイト

・ <http://tam-web.jsf.or.jp/>

設立主体

・ 埼玉県

運営主体

・ 財団法人 日本科学技術振興財団

設立目的

・ 「日本の航空発祥の地」所沢飛行場の歴史を伝えると共に今日の航空技術、文化などを広く紹介するべく設立された。

展示概要

・ 展示室は「研究室」「格納庫」「工場」「滑走路／駐機場」「大空」「管制塔」と名づけられ、それぞれにおいて航空機の飛行原理や航空技術、歴史などを迫力ある多数の実機や映像を交えて楽しみながら理解できる。

活動概要

・ 上記展示のほか、所沢メモリアルギャラリーでは、所沢飛行場の歴史や資料などを展示。大型映像館ではオリジナル映像作品の上映を行う。飛行機の工作教室、公開講座を開催する。スーベニアショップ、カフェレストランなど。

延床面積

・ 5,260.7 m²

全職員数（常勤職員）

・ 9 名（ 2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 329,762,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 6,315 点（ 2004 年 12 月現在）但し未整理分を除く。

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：航空機インストラクター

活動目的・経緯

・本館は航空関係の資料展示を中心として科学教育、歴史およびレクリエーション性を兼ね備えた総合的な文化施設を指向しているが、当記念館がより一層幅広く、また、より専門的な諸活動を展開するためにボランティアを置き、県民を始めとした入館者サービスの向上や要望に応える。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 19 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 19 名、女性： 0 名
- ・ 平均年齢 63.1 歳：男性 63.1 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 事業課
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 飛行機工作教室 ・「総合的な学習」に対する活動
- ・ 室内飛行機工作教室 ・ Y s -11、格納庫公開時の機体解説など
- ・ 展示解説
- ・ 資料整理
- ・ 展示航空機保守メンテナンス

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 年に一回、活動内容を協議する打ち合わせを行う。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：飛行機工作教室

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 10 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 紙、ゴム動力飛行機の製作指導。

◇活動日

- ・ 毎月 2 回（第二・第四土曜日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 機材費等は館で負担、ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア側にて調整して、1 回数人で実施。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 希望者は所定の手続きにより加入。任期は一年だが延長は認める。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は館負担）。
- ・ ユニフォーム支給。

◇評価

- ・ 特になし

◇課題と展望

- ・ 教材として適当な市販キットがなく、変化がつけにくい。

◇その他

- ・ 参加者には好評。

活動個別シート② 活動名：室内飛行機工作教室

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 2 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 室内飛行機の製作指導及びテストフライト指導。

◇活動日

- ・ 年 6 回（奇数月に一回）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 機材費等は館で負担、ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 二名が講師と補助として運営。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 希望者は所定の手続きにより加入。任期は一年だが延長は認める。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は館負担）。
- ・ ユニフォーム支給。

◇評価

- ・ 特になし

◇課題と展望

- ・ 参加希望者が多い場合、ボランティア二名では運営が厳しい。
- ・ 参加希望者はさまざまな機種を作りたがるが、教材は手作りで用意しているため、希望に応えるのが困難。

◇その他

- ・ 今年度三月に飛行時間の記録を競う大会を実施する予定。

活動個別シート③ 活動名：展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 1 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 館内の展示物、特にフライトシミュレーターの操作説明。

◇活動日

- ・ 毎月数日（土・日・祝日が中心）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 一人で実施。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 希望者は所定の手続きにより加入。任期は一年だが延長は認める。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は館負担）。
- ・ ユニフォーム支給。

◇評価

- ・ 特になし

◇課題と展望

- ・ 特になし。

◇その他

- ・ 担当するボランティアは操縦免許を有しているため、フライトシミュレーターの操作説明には適材である。また来館者にも好評である。

活動個別シート④ 活動名：資料整理

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 1 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 寄贈された未整理の資料の内容を調査し、所定のカードに記入する。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア 1 名と資料担当の館職員で実施。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 希望者は所定の手続きにより加入。任期は一年だが延長は認める。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は館負担）。
- ・ ユニフォーム支給。

◇評価

- ・ 特になし

◇課題と展望

- ・ 日程が合わないため、定期的な実施ができない。

◇その他

- ・

活動個別シート⑤ 活動名：展示航空機保守メンテナンス

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 2 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 展示航空機の破損、不良箇所の修繕。

◇活動日

- ・ 不定期（必要に応じて）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 必要な材料・道具等は館で負担、ボランティア室・工作室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア二名と館の保守担当職員で実施。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 希望者は所定の手続きにより加入。任期は一年だが延長は認める。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は館負担）。
- ・ ユニフォーム支給。

◇評価

- ・ 特になし

◇課題と展望

- ・ 開館中に実施するため、塗装等の大規模なものは困難。

◇その他

- ・

活動個別シート⑥ 活動名：「総合的な学習」に対する活動

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 1 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・「総合的な学習」を目的に来館する小・中学生の質問に回答するほか、館内の展示物を使用して説明する。

◇活動日

- ・不定期（必要に応じて）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・配布資料の印刷等、ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・学校側との打ち合わせは館職員が行い、当日の対応はボランティアが1名で行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・登録されているボランティアの中から得意分野、日程等を考慮して依頼するため、本活動のみを目的とする募集はしていない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・特になし。

◇評価

- ・特になし

◇課題と展望

- ・学校側からの依頼がギリギリであったり、児童・生徒の来館日時の調整が困難なケースも多く、対応に苦慮する。

◇その他

- ・

活動個別シート⑦ 活動名：YS-11、格納庫公開時の機体解説等

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 18 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ YS-11 機及び格納庫公開時の機体解説、見学者の安全確保。

◇活動日

- ・ 年間 13 日（2004 年度の場合。但し、雨天中止のこともあり）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 看板等を館側で用意、ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 機体解説は館でローテーションを作り、該当する 1 名が担当。見学者の安全確保はボランティアが調整し、1 回当たり数人で担当。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 希望者は所定の手続きにより加入。任期は一年だが延長は認める。
- ・ 本活動は他の活動を行うボランティアが兼務している。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は館負担）。
- ・ ユニフォーム支給。・ 昼食支給。

◇評価

- ・ 特になし

◇課題と展望

- ・ 見学者の安全確保を担当するボランティアの数が減少しており、対応に苦慮している。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 飯能市郷土館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1990年04月20日

所在地

・〒357-0063 埼玉県飯能市大字飯能 258-1

公式サイト

・<http://www.city.hanno.saitama.jp/kyodo/index.htm>

設立主体

・飯能市（地方自治体）

運営主体

・飯能市教育委員会

設立目的

・郷土の歴史、民俗及び考古に関する資料の収集、保管、調査及び研究を行うとともに、これらの活用を図り、もって市民の郷土愛と文化の向上に寄与するために設置。

展示概要

- ・「常設展示室」旧石器時代から現代までのくらしの様子をわかりやすく展示しています。
- ・「特別展示室」テーマを絞った企画展示や季節にあわせた展示しています。

活動概要

- ・収蔵品展「郷土館は玉手箱」・定点撮影プロジェクト展・小中学生社会化研究展。
- ・秋の特別展・ミニ展示・民家の台所再現。
- ・夏休み親子教室。
- ・林業調査。
- ・歴史講座。

延床面積

・1,497 m²

全職員数（常勤職員）

・5名（2005年1月現在）

年間運営費

・52,743千円（2003年度）人件費含む

総資料点数

・40,688点（2004年4月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：①市民学芸員 ②定点撮影プロジェクト

活動目的・経緯

- ・①自らの生涯学習のために市民の立場で学芸員の職責を果たそうとするもの。
- ・②変わりゆく市内の風景を撮影保存していく活動プロジェクト。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 55名（2005年1月現在）
- ・ 男性：38名、女性：17名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：飯能市郷土館事業担当
- ・ 担当人数：常勤職員2名・その他（ ）名

活動の種類（種類別にご記入願います）

市民学芸員

- ・①小学3年生の社会科学習（郷土館見学）の講師。
- ・②博物館見学学習。
- ・③調査活動。

定点プロジェクト

- ・①定点撮影活動。
- ・②定点撮影プロジェクト展。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

市民学芸員

・郷土館の活動に市民の方が参画するという位置づけです。市民学芸員はさらなる活動の充実のため、また資質の向上のため、研修が必要と考えています。

定点プロジェクト

・定点プロジェクトは広い市域をいかにカバーするかが課題です。展示会は全員で協力して良いものが出来ています。定点以外にテーマを設定した展示もしています。

関連する出版物

- ・なし。

関連するHP

- ・なし。

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし。

活動個別シート 活動名：市民学芸員

◇活動開始年（西暦）

- ・1999年

◇活動人数

- ・27名（2005年1月現在）

◇活動内容

・自らの生涯学習のために市民の立場で学芸員の職責を果たそうとするものです。所定の時間の研修を修了した人に認定証を交付します。現在は毎年1月～2月に小学3年生の社会科学習の郷土館見学の講師を務める行動が中心になっています。市内9校700人位を受け入れています。そのほか子どもの森公園の児童を対象とした遊び体験事業にも参画しています。

◇活動日

- ・特に決めていないが月に1回の研修会を位置付けている。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・活動に必要な経費は館の事業費でまかなっているので補助金は出していない。

◇運営（シフト 等）

- ・自主運営の形に今後持って行きたい。

◇交流（情報、組織 等）

・普段は館から通知を出し、活動予定、活動報告などを行っている。
年1回懇親会（忘年会）を開いている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・市広報で募集。年度によって人数わくを設定、「市民学芸員養成講座」の参加者として募集。所定の研修を修了の後「市民学芸員」として認定。任期はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・博物館とは。
- ・郷土史。
- ・民俗調査手法、研修など。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・保険料のみ館が負担。

◇評価

- ・小学生対応は十分職責を果たしてもらっているが、まだ市民に活動内容が知れ渡っていない。

◇課題と展望

- ・資質の向上、館常設展示の解説活動。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：定点撮影プロジェクト

◇活動開始年（西暦）

- ・1998年（平成10年度）

◇活動人数

- ・28名（2005年1月現在）

◇活動内容

・市内の定点120箇所の定期的撮影活動を行い、カード形式で撮影内容を記録し、将来に向かってアーカイブスして行く。撮影した写真をもとに「定点撮影プロジェクト展」を開催する。

◇活動日

- ・特に決めていないが撮影日と資料整理日を設定。展示の準備活動も行う。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・活動に必要な経費は館の事業費でまかなっているため補助金は出していない。

◇運営（シフト 等）

- ・自主運営の形に今後持って行きたい。

◇交流（情報、組織 等）

- ・普段は館から通知を出し、活動予定、活動報告などを行っている。

年1回懇親会（忘年会）を開いている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・市広報で募集。年度によって人数わくを設定、「市民学芸員養成講座」の参加者として募集。所定の研修を修了の後「市民学芸員」として認定。任期はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・特になし。

今後、研修の位置づけも必要である。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・保険料のみ館が負担。

◇評価

- ・展示を見た市民からは、このような活動が評価されていると思う。

◇課題と展望

- ・どのように継続性を持たせて行くか。変化しない「定点」の撮影価値をどう見出すか。

◇その他

・

.....

館園名 : 富士見市立難波田城資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 2000年06月01日

所在地

- ・ 〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

公式サイト

- ・ <http://www.city.fujimi.saitama.jp>

設立主体

- ・ 富士見市

運営主体

- ・ 富士見市教育委員会

設立目的

- ・ 富士見市の歴史や文化を体感しながら学習するための施設として、難波田城遺跡を保存・活用するために整備された難波田城公園内に建設。

展示概要

- ・ 難波田氏や難波田城をはじめ、中世から現代までの富士見市の歴史や民俗に関わる多くの資料を展示。

活動概要

- ・ 移築復元古民家を利用した竹かご教室やふるさと体験、園内の水田を利用した田んぼ体験隊などを実施。
- ・ 地域交流施設「ちよつ蔵」では、地元特産品やミュージアムグッズを販売。

延床面積

- ・ 676.08 m² (常設展示場 126.36 m²、特別展示場 56.16 m²)

全職員数

- ・ 7名 (嘱託職員1名を含む)

年間運営費

- ・ 約 25,000 千円

総資料点数

- ・ 考古歴史資料 120 点、文書資料 14,500 点、民具資料 10,688 点、自然資料 85 点 (地質調査資料)、図書資料 6,800 冊。

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：富士見市立資料館市民学芸員（難波田城資料館担当）

活動目的・経緯

- ・ 2000年6月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 29名（2004年）
- ・ 男性：18名、女性：11名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸担当 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示解説、②ガイドツアー、③体験事業補助、④広報紙の編集。

活動その他

- ・ 土・日・祝日に活動。
- ・ 公園施設内の納屋を、ボランティア室として使用。
- ・ 館により運営。
- ・ 1ヶ月単位でローテーションを作成。1日、2～3名を基本に活動。
- ・ 月1回（原則第3土曜日）、定例会を実施。
- ・ 定期的に一般公募。
- ・ 任期切れの前年度に、養成講座を実施。
- ・ 定年制なし。
- ・ 任期3年。
- ・ 定例会において、ミニ講座を実施（講師は、市民学芸員、職員）。
- ・ 年2回程度、市民学芸員が中心となって、城跡・市内の文化財などの視察研修などを行う。
- ・ 交通費として、1日1,000円支給。
- ・ ボランティア保険は、各自負担にて加入。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示解説

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 29 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 城跡、古民家を中心としたポイント解説。

◇活動日

- ・ 土・日・祝日に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 公園施設内の納屋を、ボランティア室として使用。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 ヶ月単位でローテーションを作成。1 日、2～3 名を基本に活動。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月 1 回（原則第 3 土曜日）、定例会を実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 定例会において、ミニ講座を実施（講師は、市民学芸員、職員）。
- ・ 年 2 回程度、市民学芸員が中心となって、城跡・市内の文化財などの視察研修などを行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費として、1 日 1,000 円支給。ボランティア保険は、各自負担にて加入。

◇評価

- ・ 市民による身近な案内で、好評を頂いている。
- ・ ガイドツアー参加者との会話から得られる多くの情報は、資料館の事業展開に欠かせないものになっている。

◇課題と展望

- ・ 開園から、間もなく 5 年を迎え、新たな解説希望者が少なくなっている。
- ・ 年齢層に合わせた解説など、新たな展開を考えたい。

◇その他

- ・

活動個別シート ②ガイドツアー

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 29 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 難波田城公園の施設のガイドツアー (1 日 4 回実施)。

◇活動日

- ・ 土・日・祝日に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 公園施設内の納屋を、ボランティア室として使用。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 1 ヶ月単位でローテーションを作成。1 日、2~3 名を基本に活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月 1 回 (原則第 3 土曜日)、定例会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 定例会において、ミニ講座を実施 (講師は、市民学芸員、職員)。
- ・ 年 2 回程度、市民学芸員が中心となって、城跡・市内の文化財などの視察研修などを行う。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費として、1 日 1,000 円支給。ボランティア保険は、各自負担にて加入。

◇評価

- ・ 市民による身近な案内で、好評を頂いている。
- ・ ガイドツアー参加者との会話から得られる多くの情報は、資料館の事業展開に欠かせないものになっている。

◇課題と展望

- ・ 開園から、間もなく 5 年を迎え、新たな解説希望者が少なくなっている。
- ・ 年齢層に合わせた解説など、新たな展開を考えたい。

◇その他

・

活動個別シート ③体験事業補助

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 29 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 昔遊びや年中行事、生活体験などをする事業の補助、および企画。
- ・ 難波田公園まつりや、古民家宿泊体験などの企画の補助。

◇活動日

- ・ 土・日・祝日に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 公園施設内の納屋を、ボランティア室として使用。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 ヶ月単位でローテーションを作成。1 日、2～3 名を基本に活動。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月 1 回（原則第 3 土曜日）、定例会を実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 定例会において、ミニ講座を実施（講師は、市民学芸員、職員）。
- ・ 年 2 回程度、市民学芸員が中心となって、城跡・市内の文化財などの視察研修などを行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費として、1 日 1,000 円支給。ボランティア保険は、各自負担にて加入。

◇評価

- ・ 市民学芸員の個々の持つ能力やアイデアを生かしながら、多様な企画を展開している。

◇課題と展望

- ・ 市民学芸員によって、主体的、かつ組織的に展開されることが望まれる。

◇その他

・

活動個別シート ④広報紙の編集

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 29 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 広報紙の編集を行う (年 4 回発行)。
- ・ 難波田城だより (年 4 回発行) のコラム欄および連載記事の執筆。
- ・ 難波田城ミニ通信 (イベント情報) の編集・発行。

◇活動日

- ・ 土・日・祝日に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 公園施設内の納屋を、ボランティア室として使用。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 1 ヶ月単位でローテーションを作成。1 日、2~3 名を基本に活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月 1 回 (原則第 3 土曜日)、定例会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 定例会において、ミニ講座を実施 (講師は、市民学芸員、職員)。
- ・ 年 2 回程度、市民学芸員が中心となって、城跡・市内の文化財などの視察研修などを行う。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費として、1 日 1,000 円支給。ボランティア保険は、各自負担にて加入。

◇評価

- ・ 市民学芸員の編集への参加により、身近な紙面づくりに寄与している。

◇課題と展望

- ・ 市民学芸員の協力を得ながら、資料館のHPづくりを実現したい。

◇その他

・

.....

館園名 : 富士見市立水子貝塚資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1994年06月01日

所在地

- ・ 〒354-0011 埼玉県富士見市水子 2003-1

公式サイト

- ・

設立主体

- ・ 富士見市

運営主体

- ・ 富士見市

設立目的

- ・ 1998年12月、富士見市立考古館が水子貝塚公園に移転、名称を変更。

展示概要

- ・ 県指定文化財羽沢遺跡出土獣面把手付土器（縄文時代）など、市内の遺跡から出土した考古資料を展示。
- ・ 別棟の水子貝塚展示館では、水子貝塚出土の資料を展示。
- ・ 園内では竪穴住居 5 軒を復元している。

活動概要

- ・ 土器づくり教室、企画展、ふじみ考古学教室を開催。
- ・ 市民向けのパンフレット、資料集等の刊行。
- ・ 希望があれば、体験学習にも対応。

延床面積

- ・ 資料館 403.28 m² 展示館 448.00 m²

全職員数

- ・ 6名

年間運営費

- ・ 27,803千円（水子貝塚公園管理費用も含む）

総資料点数

- ・ 考古資料完形土器 950点、コンテナ約 2,000箱、図書資料 1496冊。

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：市民学芸員

活動目的・経緯

- ・ 1999 年度、養成講座を開催。
- ・ 2000 年 9 月、活動開始。
- ・ 2002 年度、第 2 期養成講座を開催。
- ・ 2003 年度、第 2 期ボランティアを加えて活動。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 30 名（2004 年）
- ・ 男性：19 名、女性：11 名（年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸グループ 担当人数：常勤 2 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示解説・案内、②事業の準備・実施、③体験学習への協力。

活動その他

- ・ 土・日・祝日。
- ・ 館により運営。
- ・ 情報紙を発行。
- ・ 月に 1 回、月例会を開催。
- ・ 3 年に 1 度、養成講座（基礎講座 10 回、専門講座 5 回）開催前に募集し、広報紙に要項を掲載。
- ・ 条件：市内在住在勤、18 歳以上。
- ・ 定年制なし、任期 3 年（更新あり）。
- ・ 館が、管外研修（年 1 回）、を実施。
- ・ 企画展開催時に、学習会を実施。
- ・ 交通費支給。

関連する出版物

- ・ 『貝の環 市民学芸員 3 年間の記録集』（2003 年度）

関連するHP

- ・ 2005 年度に開設できるよう、準備中。

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示解説・案内

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 30 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 館内・屋外展示物の解説・案内。

◇活動日

- ・ 土日祝日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 市民学芸員控室あり。
- ・ 必要に応じて備品を支給。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 1 人、月に 1 回から 2 回程度活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月例会を開催。
- ・ 「市民学芸員だより」を、月に 1 回発行。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 3 年に 1 度、養成講座 (基礎講座 10 回、専門講座 5 回) 開催前に募集し、広報紙に要項を掲載。条件：市内在住在勤、18 歳以上。定年制なし、任期 3 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 養成講座 (基礎講座 10 回、専門講座 5 回) ←3 年に 1 度
- ・ 管外研修 (年 1 回)、企画展開催時に、学習会を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (費用は個人負担)。交通費支給。

◇評価

- ・ 展示解説をする際だけ、入ることのできる場所もあるので、来館者には好評である。

◇課題と展望

- ・ 解説の技術的な向上と、中身の充実が課題。

◇その他

- ・

活動個別シート ②事業の準備・実施

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 30 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 事業の開催準備から実施 (土器・勾玉作りなど)。
- ・ 事業の企画、開催補助。
- ・ 事業で使用する道具の整備、製作など。

◇活動日

- ・ 土日祝日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 事業開催日に多く来ていただけるよう、調整。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月例会を開催。
- ・ 事業実施前に、準備・予習のために集ることあり。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 3 年に 1 度、養成講座 (基礎講座 10 回、専門講座 5 回) 開催前に募集し、広報紙に要項を掲載。条件：市内在住在勤、18 歳以上。定年制なし、任期 3 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 養成講座 (基礎講座 10 回、専門講座 5 回) ←3 年に 1 度
- ・ 管外研修 (年 1 回)、企画展開催時に、学習会を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (費用は個人負担)。交通費支給。

◇評価

- ・ 体験学習等で、多くの人数にきめ細やかな対応をすることが可能になった。

◇課題と展望

- ・ 事業の内容充実と、多人数への対応を可能にするための工夫が必要。
- ・ 新たな企画を考える時期に来ている。

◇その他

・

活動個別シート ③体験学習への協力

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 30 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 学校での体験学習等への協力。
- ・ 総合学習で来館した時の対応。

◇活動日

- ・ 学校の授業開催時。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 前もって予定が分かる場合にはシフトを考慮する。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月例会を開催。
- ・ 「市民学芸員だより」を、月に 1 回発行。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 3 年に 1 度、養成講座 (基礎講座 10 回、専門講座 5 回) 開催前に募集し、広報紙に要項を掲載。条件：市内在住在勤、18 歳以上。定年制なし、任期 3 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 養成講座 (基礎講座 10 回、専門講座 5 回) ←3 年に 1 度
- ・ 管外研修 (年 1 回)、企画展開催時に、学習会を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (費用は個人負担)。交通費支給。

◇評価

- ・ 体験学習等のメニューが多彩になり、多くの人数に対応が可能になった。

◇課題と展望

- ・ 一学年全体に対応する場合など、多人数に対応する準備について検討する必要がある。

◇その他

・

.....

館園名 : 毛呂山町歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1993年03月02日

所在地

・〒350-0432 埼玉県入間郡毛呂山町大字大類 535

公式サイト

・<http://www.town.moroyama.saitama.jp/rekisi/index.htm>

設立主体

・毛呂山町

運営主体

・毛呂山町

設立目的

・急激な都市化に伴う社会変動で散逸、破壊の危機にある郷土の資料を収集、保存、調査研究し一般に広く公開し、町民の文化意識の向上に資するための社会教育施設として設立。

展示概要

・毛呂山町の原始・古代、中世、近世までの通史と、県内で唯一、毎年行われている流鏝馬、近世から昭和40年代まで盛んだった養蚕、山地の仕事等の民俗展示で構成。全体のテーマは「山と平野の里、歴史と文化」。

活動概要

・隔年で特別展、収蔵品展は1～2回、夏休みの子ども向け企画展。
・鎌倉街道のウォーキングを2回、文化財めぐり1回、縄文土器づくり、等の体験学習
親子藍染め教室、古文書購読講座、資料館だよりの発行。(年、4～5回)

延床面積

・1,551 m²

全職員数（常勤職員）

・6名（平成16年12月現在）

年間運営費

・26,069,000円（2003年度）

総資料点数

・11,150点（平成16年12月現在）

施設その他

・屋外に復活古墳。

2. ボランティア活動 名称：歴史民俗資料館サポーター

活動目的・経緯

・当館の様々な事業に、興味と熱意と関心を持って参画することで、文化財保護活動や、円滑な博物館運営を支援する。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 19名（平成16年12月現在）
- ・ 男性：13名、女性：6名
- ・ 平均年齢57歳：男性62歳、女性46歳

ボランティア担当職員（平成16年12月現在）

- ・ 部局名称：毛呂山町歴史民俗資料館
- ・ 担当人数：常勤職員2名・その他（ ）名
（おもに2名が窓口になっている）

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①文化財景観保全、雑木林の下草刈。
- ・ ②講座の受付、スライド補助、写真撮影、展示業務の補助、文化財めぐりでの交通安全誘導。各種講座、展示の実務の補助。
- ・ ③サポーター協力講座。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・あらゆる事業で、職員の手助けをしている。参加した事業には、（特に聴講形式のもの）講義を受講できるようにしている。

関連する出版物

- ・なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし。

活動個別シート 活動名：①文化財景観保全ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・2004年

◇活動人数

- ・7名（平成16年12月現在）

◇活動内容

- ・雑木林の下草刈り、片付け

◇活動日

- ・不定期。（年2回程度）

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・なし。

◇運営（シフト 等）

- ・なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・資料館から情報を発信。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・広報で、サポーター以外の人を募る。地権者にも声をかける。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・なし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・なし。

◇評価

- ・特に検討していない。

◇課題と展望

- ・継続するには、他の保全団体との協力関係を視野に入れておく必要がある。

◇その他

- ・文化財保護の啓発事業の一環でもあるので、資料館が引っぱる形で、取り組む必要がある。

活動個別シート 活動名：②各種講座展示の実務の補助

◇活動開始年（西暦）

- ・2004年

◇活動人数

- ・6名（平成16年12月現在）

◇活動内容

- ・展示パネルの作成、写真パネルの作成。
- ・講座での受付、スライド上映の補助、事業のスナップ写真の撮影。
- ・屋外事業での安全誘導。

◇活動日

- ・不定だが土、日が多い。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・なし。

◇運営（シフト 等）

- ・なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・資料館が情報発信。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・サポーターに直接連絡し、情報を提供。
任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・展示の場合は、学芸員からレクチャーを受ける。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・事業には、受講できるよう配慮している。

◇評価

- ・特に検討していない。

◇課題と展望

- ・サポーターの主体となる事業を、サポーターの提案で行えるようになれば良いが、当面は、館が主体となり、館事業のサポートになりそうである。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③サポーター協力講座

◇活動開始年（西暦）

- ・2004年

◇活動人数

- ・2名（平成16年12月現在）

◇活動内容

- ・「歴史と書道」という名称で、サポーターに講師をお願いし、事業を行っている。
中国から日本の書跡を手本に実技と書の歴史について学習するが、町内の石碑を拓本に採り、拓本を手本に実技も行う。文化財を活用した事業でもある。

◇活動日

- ・月2回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・なし。

◇運営（シフト 等）

- ・なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・資料館が情報発信。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・広報で受講者を募る。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・なし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・なし。

◇評価

- ・特に検討していない。

◇課題と展望

- ・講座を母体にサークル活動に発展すると考えられる。その後も、団体が、館のサポーターとして支援してくれるような協力体制をつくることが望まれる。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 八潮市立資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1989年11月23日

所在地

- ・ 〒340-0831 埼玉県八潮市南後谷 763-50

公式サイト

・

設立主体

- ・ 八潮市教育委員会

運営主体

- ・ 八潮市

設立目的

- ・ 八潮地方の地域資料を収集、整理、保存、および調査研究し、八潮市の文化向上と、文化遺産の保存を図るために、資料館を設置し、資料館所蔵の諸資料を市民一般の活用に供して、八潮の歴史と文化の発展に対する理解を深め、市民の愛郷心の育成に資する。

展示概要

- ・ 行政文書、古文書、民具、地域新聞、歴史図書、明治5年からのマイクロ新聞などを収蔵。
- ・ 八潮地方の自然風土の中で、八潮の歴史と文化、産業の発展を観察し、明日への新しい市民文化の創造性を高めるために、常設展、企画展、古民家展示を実施している。

活動概要

- ・ 企画展、各種講座、資料活用事業などを開催。
- ・ 収集資料の保存・整理、展示。

延床面積

- ・ 2295 m² (うち、古民家 246 m²)

全職員数

- ・ 8名

年間運営費

・

総資料点数

- ・ 4,790,000点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：八潮市立資料館ボランティア・八潮市文化財調査ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1996年12月、資料館ボランティア、活動開始。
- ・ 1998年3月、文化財活動ボランティア、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 21名（2005年）
- ・ 男性：5名、女性：16名（2005年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育総務部文化財保護課資料館係（資料館ボランティア）
担当人数：常勤3名・その他（非常勤、臨時職員）3名
- ・ 部局：教育総務部文化財保護課文化財保護係（文化財活動ボランティア）
担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①八潮市立資料館ボランティア、②八潮市文化財活動ボランティア。

活動その他

- ・ 職員とボランティアの関係のあり方、活動の評価のあり方について検討する必要がある。
- ・ ボランティア室あり。
- ・ 資料館ボランティアは資料館事業の充実を図るため、民具類を始め多くの収蔵資料を使い、新しい市民文化の創造性を高める人的支援を受けている。
- ・ 文化財活動ボランティアは、市の文化財を調査するとともに、その活用のため人的支援を受けている。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①八潮市立資料館ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1996 年

◇活動人数

- ・ 15 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 資料館活動に係る歴史資料・民俗資料・公文書の整理保存。
- ・ 資料展示および利用。

◇活動日

- ・ 特定の曜日に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・ 館により運営。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 定期的に、一般公募。
- ・ 定年制なし、任期 2 年。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 館が実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 啓発事業のためには、大切な組織である。

◇課題と展望

- ・ 活動に積極的な人と、学習会参加が目的の人とに二極化してきている。

◇その他

・

活動個別シート ②八潮市文化財活動ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 6 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 市文化財保護条例で定める文化財調査委員とともに、文化財の活用を支援。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 報償として、24,000 円を計上。ボランティア室。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館により運営。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 定期的に、一般公募。
- ・ 定年制なし、任期 2 年。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 歴史講座、ふるさと講座を受講。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 1 人あたり 1 日 1,000 円を支給。

◇評価

- ・ 余暇活動として、十分な調査・活動が図られている。

◇課題と展望

- ・ 独自のテーマ調査に対する教育委員会の支援体制が未整備である。

◇その他

- ・